

## 乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2）

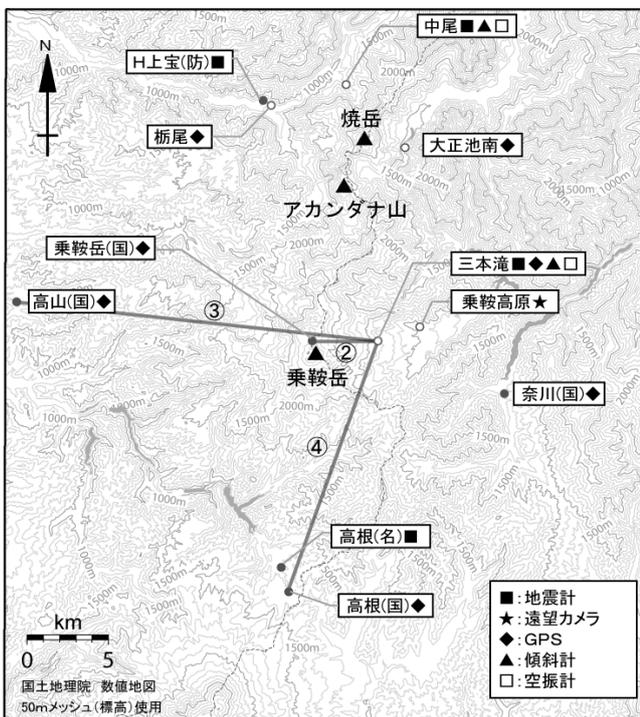
乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・地震活動（図 3-①、図 4※）

乗鞍岳付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。  
火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 3-②※③④※）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(名)：名古屋大学

図 1 乗鞍岳 観測点配置  
GPS 基線②～④は図 3 の②～④※に対応しています。



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況  
(1月24日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 2 月分）は平成 24 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

乗鞍岳

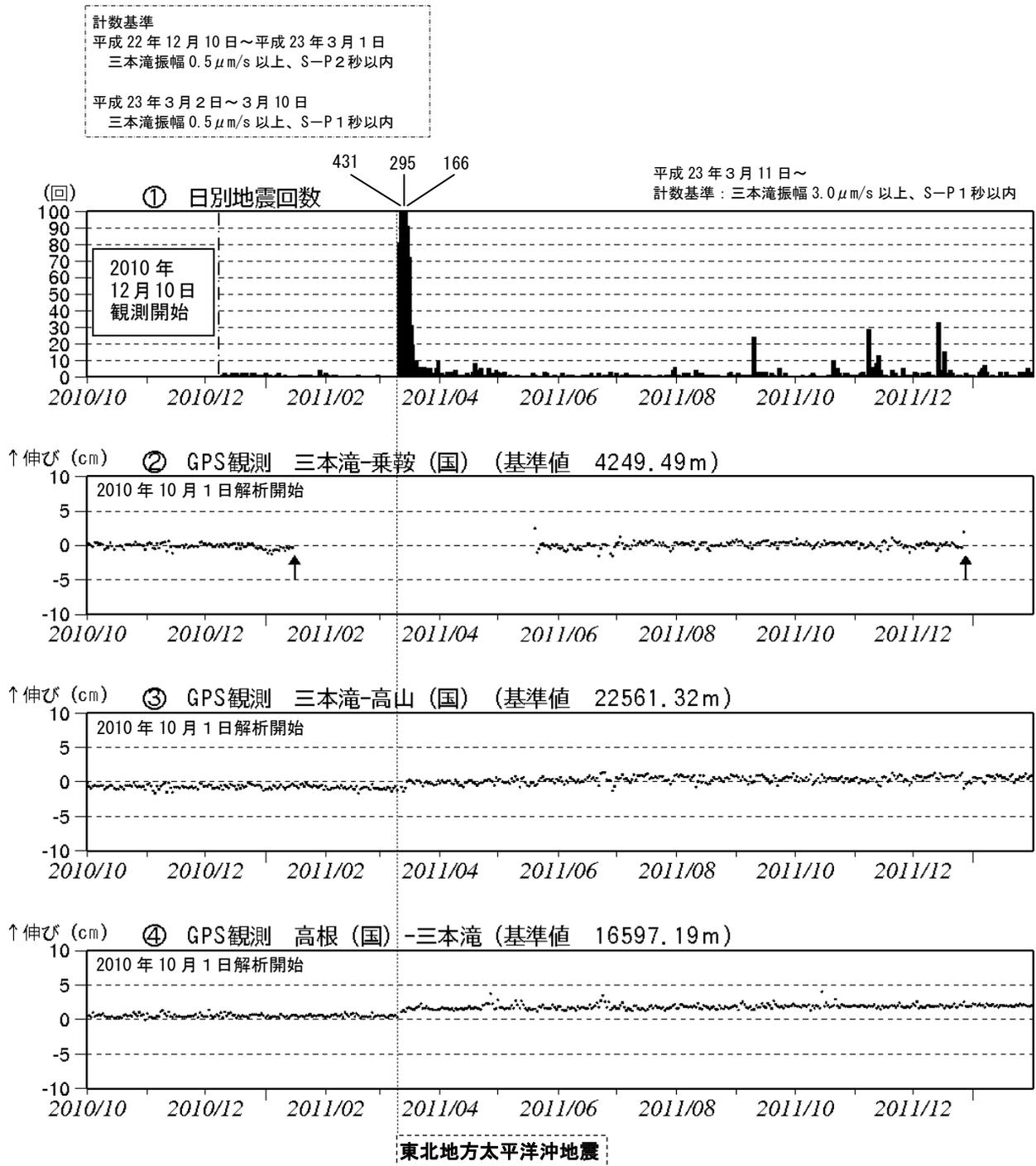


図 3 乗鞍岳 火山活動経過図

①：乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010 年 12 月 10 日～2012 年 1 月 31 日)

②\*③\*④\*：GPS 連続観測による基線長変化 (2010 年 10 月 1 日～2012 年 1 月 31 日)

(国)：国土地理院

今月から GPS 連続観測結果の掲載を開始します。

③\*④\*の基線には、2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震後に変化がみられます。

②～④\*は図 1 の GPS 基線②～④に対応しています。

②グラフの矢印から空白部分は欠測を示しています。

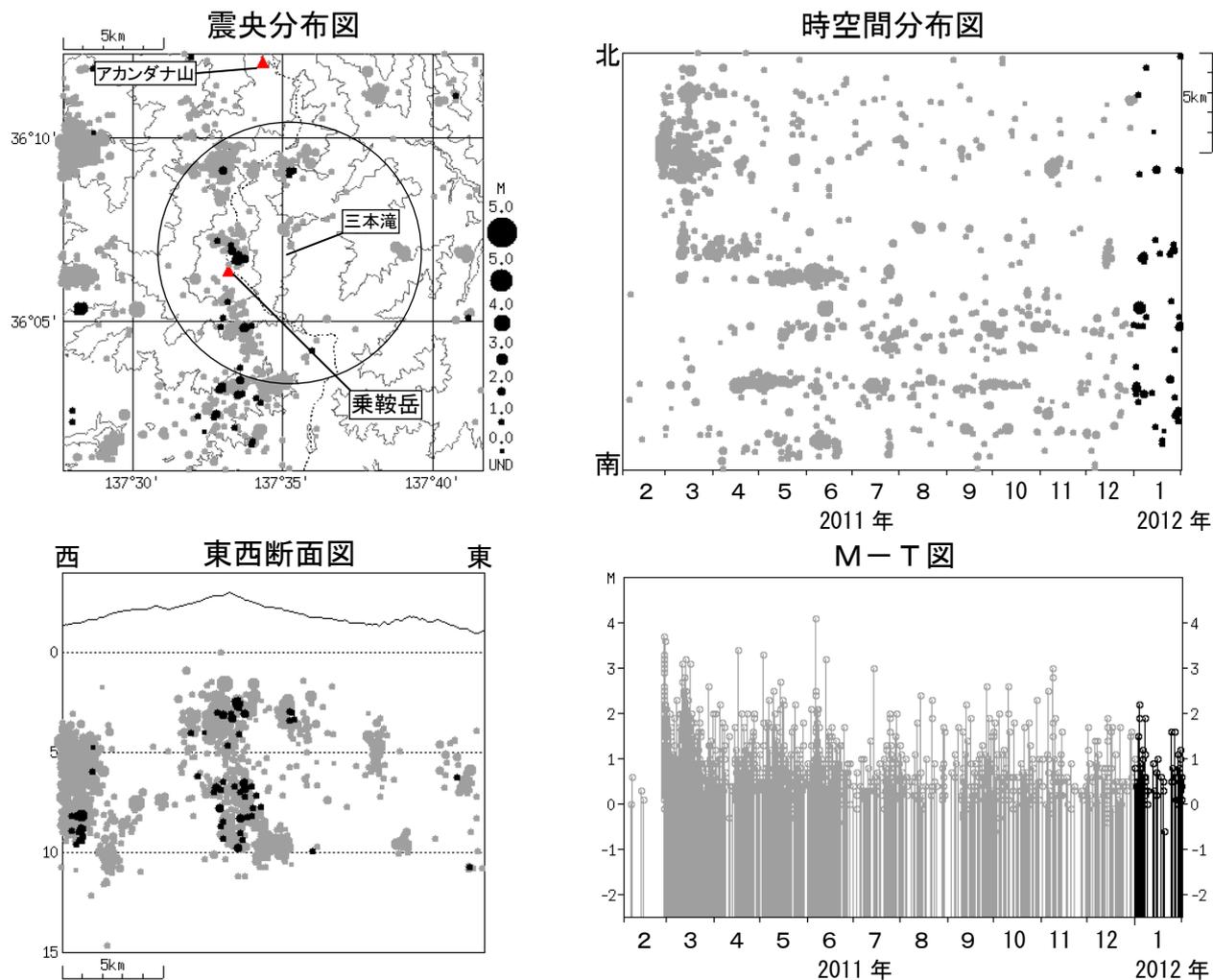


図 4 ※ 広域地震観測網による乗鞍岳周辺の地震活動(2011 年 2 月～2012 年 1 月)

● : 2011 年 2 月 1 日～12 月 31 日

● : 2012 年 1 月 1 日～1 月 31 日

震央分布図中の円は図 3 の計数対象地震 (三本滝で S-P 時間 1 秒以内) のおよその範囲。

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。